

感染症発生状況

平成30年12月19日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年12月10日（月）～12月14日（木）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】486名 【職員】26名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】97名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数114名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（157名）、咳・鼻水（48名）、下痢・腹痛（36名）、嘔気・嘔吐（18名）

疾病別：手足口病（53名）、気管支炎・肺炎（25名）、胃腸炎（24名）、溶連菌感染症（22名）

【職員】症状：咳・鼻水（3名）、下痢・腹痛（1名）、発疹（1名）

疾病別：胃腸炎（3名）、流行性角結膜炎（2名）、溶連菌感染症（2名）、インフルエンザ（1名）

RSウイルス感染症、インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、水痘、溶連菌感染症、手足口病、ウイルス性胃腸炎、流行性角結膜炎等各種感染症が入り乱れての流行です。

職員の感染症は子どもと同じ傾向にあります。園児への感染元にならないよう早めの対応をお願いします。

【症状別の発生状況】

手足口病 河南、都南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 河北地域で減少しました。厨川、都南地域で増加しました。

胃腸炎 玉山、河南、都南地域で減少。厨川、河北地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、都南地域で減少。河南地域で増加しました。

【県の状況（12/3～12/9）】

感染性胃腸炎は、ノロウイルス等による集団感染事例が4例報告されました。予防には調理前や食事前、トイレの後の石けんと流水による十分な手洗い、患者の吐物や便は使い捨ての手袋やマスクを着用し、塩素系薬剤で処理することが重要です。

溶連菌咽頭炎は、県内の多くの地区で患者数が増加しています。突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症です。肺炎や腎炎などの合併症を引き起こす場合もあります。予防には手洗いやうがいを励行し、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

インフルエンザは、県内の7地区から報告がありました。今後の動向に注意が必要です。予防には、ワクチン接種や体調管理、こまめな手洗いが重要です。ワクチンは接種から効果が現れるまでに2週間程度かかるため、早めの接種が勧められます。接種については、事前に医療機関へご確認ください。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】